



株式会社漆原

代表取締役

漆原 和告 氏

旅行用スーツケース製造やカメラをはじめとする精密機器の保管ケースなどのOEM 製造を手がける。

学術的な知見を得ることで 製品開発が飛躍的に進展

当社ではスーツケースの製造・開発を行っており、スーツケースの強度を高めながら軽量化も図ることが課題でした。製品開発に6年間取り組んだものの、本体の接着部分に空気層が残り、納得できる強度が出ませんでした。

そんな中、取引先のきらぼし銀行から紹介を受け本窓口にご相談したところ日本大学上田准教授に巡り合うことが出来ました。上田准教授には、基礎的なことをわかりやすく丁寧にアドバイスしていただき、数か月で製品開発から量産化のめどまでたどりつくことが出来ました。今後はCFRP（炭素繊維強化プラスチック）を用いた製品開発に取り組んでいきたいと思っています。



日本大学 理工学部

准教授

上田 政人 氏

炭素繊維強化プラスチックなどの材料・構造力学が専門。

将来の発展につながる相談は 企業・大学双方にメリット

今回の相談では複合素材の特性などについてアドバイスをを行いました。接着面に課題があることが分かり、何層もの材料を重ねて作る時の圧力や時間、熱量などを調整しながら検証しました。現在、共同で取り組んでいるCFRPはコストが高く、量産には至っていません。産業界全体としても非常に革新的な取り組みだと感じています。

企業が個別に大学にアポイントをとることは非常に難しいと思いますが、東商が仲介に入って多くの大学にアプローチできる仕組みは非常に効率的だと思います。複数の大学に相談してみることが大事で、その中で企業の課題に対応できる大学を見つけられれば良いと感じます。